

住宅防火 だより

令和
8 年

vol.28 2026Nov



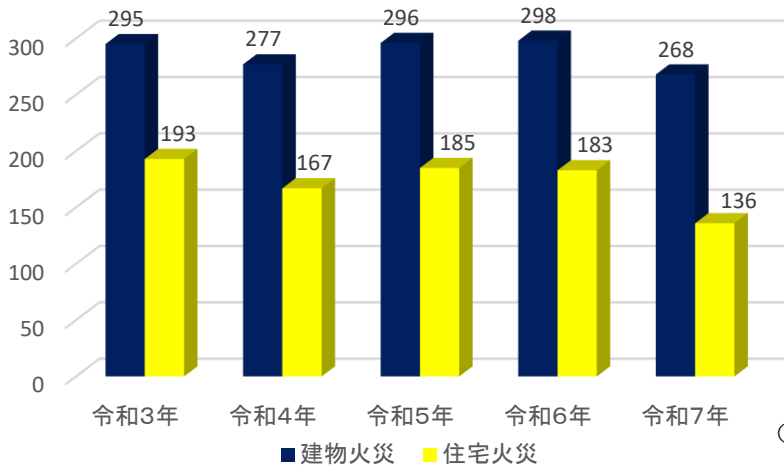
連動型住宅用火災警報器の例

火の確認
いい日を支える
いい習慣

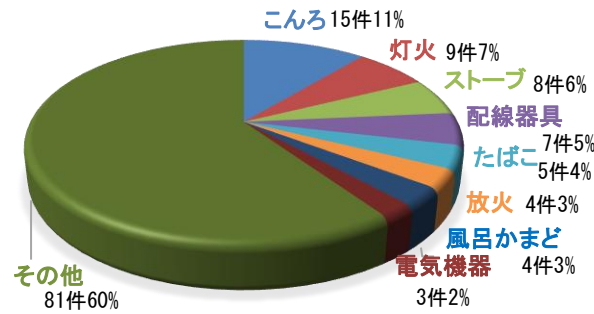
(2026年度全国統一防火標語)

住宅火災の状況（鹿児島県）

建物火災に占める住宅火災の件数



住宅火災の主な出火原因（令和7年中）



（令和7年中は、速報値である。）

令和3年から令和7年における建物火災のうち、約6割が住宅火災となっています。令和7年中の出火原因を見ると、こんろ、灯火（ろうそく等）、ストーブの順となっています。

住宅用火災警報器の点検・交換

「住宅用火災警報器」は、火災により発生する煙を感知し、音声や警報音により、火災を早期に知らせてくれる機器です。



点検は定期的に！

- ・ 反応しない場合は、すぐに**交換**しましょう。
- ・ 設置から10年以上の場合も**交換**しましょう。



住宅用消火器等を設置しましょう



住宅用消火器

これなら簡単に
使えそう！



エアゾール式

住宅用消火器は、一般家庭で使用しやすいように開発された消火器で、コンパクトで軽量なので、女性や年配の方でも扱いやすいのが特徴です。また、片手で使用できるエアゾール式の簡易消火具もあります。

リチウムイオン蓄電池の留意点

リチウムイオン電池を使用した製品は、身近にあります。



出展元：（公財）日本容器包装リサイクル協会



PSEマークやリサイクルマークが表示されているか、確認しましょう！

- ・強い衝撃や圧力を加えない。
- ・高温になる場所では使用・保管しない。
- ・安全な場所で、目の届くところで充電する。
- ・異常（破損や膨張など）を感じたら使用を中止する。
- ・リコール情報（製品の欠陥や不具合）を確認する。

⚠ 誤った廃棄方法は、ごみ収集車などでの火災事故につながります。
処分する際は、地域で指定されたルールに従って廃棄してください。

モバイルバッテリーから出火したら？

大声で周囲に知らせて、119番通報、可能なら初期消火



- ・消火器を使う。
- ・消火器がない場合は、ボウルや鍋等で覆う。
- ・大量の水をかける、水を溜めたバケツ等に投入する。



地震による電気火災対策に感震ブレーカーを！

感震ブレーカーは、震度5強相当の地震を感知して、電気を自動で遮断します。

地震が引き起こす電気火災とは？

地震の揺れに伴う電気機器からの出火や、停電が復旧した時に発生する火災のことです。

⚠ 地震の揺れで電気ストーブが転倒したり、ストーブに落ちた洗濯物から出火する。

⚠ 家具が転倒し、その下敷きで断線した電気コードがショートして出火する。

分電盤タイプ（内蔵型）	分電盤タイプ（後付型）	コンセントタイプ	簡易タイプ
分電盤に内蔵されたセンサーが揺れを感知し、ブレーカーを落として電気を遮断。	分電盤に感震機能を外付けするタイプで、漏電ブレーカーが設置されている場合に設置可能。	コンセントに内蔵されたセンサーが揺れを感知し、コンセントから電気を遮断。	ばねの作動や重りの落下によりブレーカーを落として、電気を遮断。
約5～8万円（標準的なもの）	約2万円	約5,000円～2万円	3,000円～4,000円程度
電気工事が必要	電気工事が必要	電気工事が必要なタイプと、コンセントに差し込むだけのタイプがある	電気工事が不要

※ 性能評価を受けた製品には、認証マークや推奨マークが表示されています。

住宅防火

いのちを守る10のポイント

4つの習慣



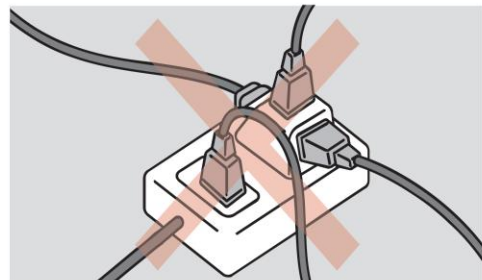
①寝たばこは絶対にしない、させない



②ストーブの周りに燃えやすいものを置かない

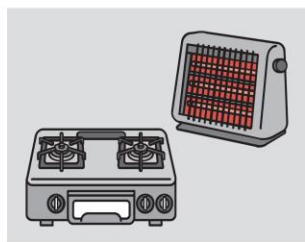


③こんろを使うときは火のそばを離れない



④コンセントはほこりを清掃し、不必要なプラグは抜く

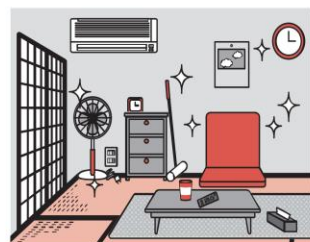
6つの対策



①火災の発生を防ぐために、ストーブやこんろ等は安全装置の付いた機器を使用する



②火災の早期発見のために、住宅用火災警報器を定期的に点検し、10年を目安に交換する



③火災の拡大を防ぐために、部屋を整理整頓し、寝具、衣類及びカーテンは、防災品を使用する



④火災を小さいうちに消すために、消火器等を設置し、使い方を確認しておく



⑤お年寄りや身体の不自由な人は、避難経路と避難方法を常に確保し、備えておく



⑥防火防災訓練への参加、戸別訪問などにより、地域ぐるみの防火対策を行う

※「住宅防火いのちを守る10のポイント」消防庁

(<https://www.fdma.go.jp/relocation/html/life/juukei.html>)を加工し作成